

御丞清直 みかひらひ 國學者。文化九年二月十五日伊勢國度會郡山田吹上町生れ。明治二十七年七月四日歿（二八二一九四）。初名光直、幼名壽之助、通稱權之亮、志津摩、尚書。號棒園。杉原光基の長男、御丞清富の養嗣子。本居春庭の流を國學を修む。二七二歳の折『離宮院考證』を著す。古文書の保存に努め、神宮制度の改革に盡力。維新後教部省に入り、北勢延喜式を調査。神宮教院一等教監、神宮禰宜兼造神宮頭を歴任した。

『御丞清直先生小傳』（明治四十二年八月十五日三重・松本時彦編刊）、

『御丞清直翁傳』（昭和十一年十一月二十五日神宮司廳編刊）がある。